

高校生の日本語指導・教科支援 —高等学校・支援団体からの報告—

大阪府立大阪わかば高等学校
森山玲子・甲田菜津美



本日の内容

- (1) 卒校になって変わったこと
- (2) 多文化多言語環境で育つ生徒のサポート体制について
- (3) わかば日本語モデル
- (4) 実際の授業について

(1) 枠校になって変わったこと

大阪府立高校の「枠校」入試について

人 数：大阪府教育庁が指定する人数（2021年度定員の6%）

対 象 者：中国から帰国した者または外国籍を有する者で、
原則として、
小学校第4学年以上の学年に編入した者

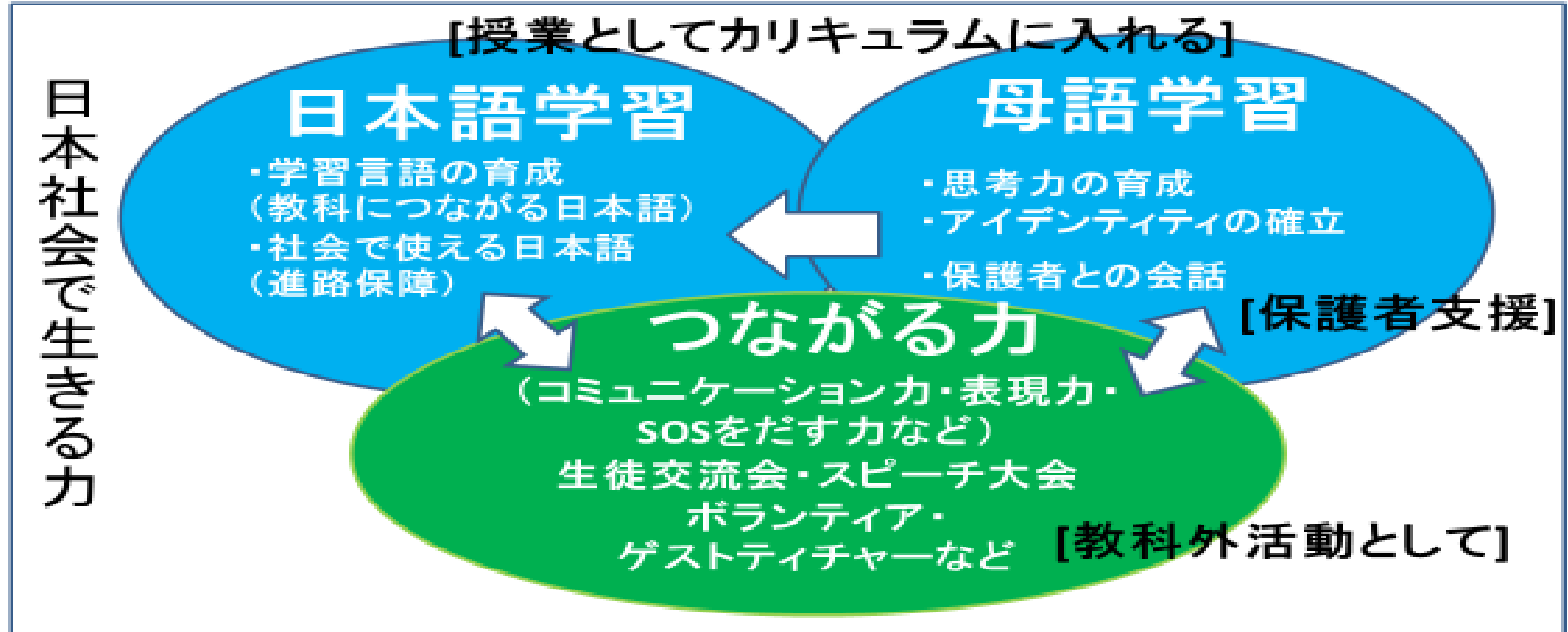
検 査：「数学」「英語」の学力検査 と 「作文」
※作文は日本語以外の使用が認められる

大阪府立高校の「枠校」実施校

「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 2001年～長吉高校〔総合学科（インパワメントスクール）〕 | （大阪市南） |
| 門真なみはや高校〔総合学科〕 | （門真市） |
| 2002年～八尾北高校〔総合学科〕 | （八尾市） |
| 2003年～成美高校〔総合学科〕 | （堺市） |
| 2005年～布施北高校〔総合学科（インパワメントスクール）〕 | （東大阪市） |
| 2016年～福井高校〔総合学科〕 | （茨木市） |
| 2017年～東淀川高校〔普通科〕 | （大阪市北） |
| 2022年～大阪わかば高校〔多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部〕 | （大阪市東） |

大阪府立高校の「梓校」の取り組み



アイデンティティの確立
自尊感情の育成



進路実現・自己実現

ひとりひとりが大切にされる安全で安心な学校

ひとりひとりが大切にされる安全で安心な学校

2022/10/4 LHR

政治的教養 生徒会選挙

後期から、33人の新しい仲間をむかえます！

長い、秋休みを終え、いよいよ後期の授業が始まります。

大阪わかば高校には秋季入試があり、10月からさまざまな事情で転学、編入学、

入学してきた新しい仲間をむかえます。環境が大きく変わり不安な気持ちの人や

新しい人間関係にすぐ緊張している人もいます。

3R(3つのRespect)を大切にしよう！

Respect「自分」

大阪わかば高校では、「自分」「周りの人」「学校の環境」を

大事にすること=3R(Respect)を大切にしています。

同じクラスでなくても、授業や部活動、文化祭など行事等とつながる

こともあります。同じ学校の仲間としてあたたかい気持ちでむかえてください。

また、その中には、日本に来て数か月で、日本語の勉強を始めたばかりの人

もいます。ちがう言語や宗教、文化をもっている人もいます。わかばで学ぶすべての人が、

お互いにちがいをみとめ合い、誰ひとり置き去りにされることなく、安心して楽しく

すごせるよう協力してください。そのために2つのお願があります。

1、「外人」「(国の名前)人」と呼ばないでください。「名前」で呼んでください。

「外人」を辞書で調べると、①仲間以外の人。疎遠な人。②敵視すべき人。③外国人。異人(広辞苑より)と書いてあります。悪気なく使っている、この言葉に差別的な意味を感じ、嫌な気持ちになる人もいます。一人ひとり「名前」があるので、「なんてよんだらいい？」と聞いて、名前と呼んでください。

2、日本語がわからず困っている時は、ゆっくり、「やさしい日本語」で話しかけてください。

「外国人」や「外国にルーツがある人」みんなが英語を話せるわけではありません。日本語がわからなくて困っている時は、ゆっくりと、やさしい日本語で話しかけてください。



3Rで、みんなが、安心して学べる学校に！

2022年4月より成年(オトナ)年齢が20歳から(18)歳に変わりました。

クイズ)成年(オトナ)になったらできることをすべてえらびましょう。

- ①部屋をかりる
- ②たばこをす
- ③携帯電話を契約する
- ④参議院議員をえらべる
- ⑤競馬ができる

(2 ①・③・④)

～もっと詳しく知りたい人は下記のURLまたはQRコードから調べてみよう！～



成年年齢の引下げ | 政府広報オンライン (gov-online.go.jp)



001300586.pdf (moj.go.jp)

これから生徒会選挙を行います。

選挙とは、自分たちの代表者や役員をえらぶことです。生徒会選挙では、生徒会役員をえらびます。選ばれた人たちは、「どんな学校にするか」「どんな行事(スポーツフェスティバルや文化祭)」にするか、みんなの意見を聞いて考えます。今回の選挙権は、生徒会貴を払っているわかば生全員にあります。

2016年6月に国や地方における選挙権が、20歳から18歳に引き下げられました。

理由は、世界では成人年齢が18歳のところが多く選挙権も18歳のところが多いからです。

また、若い人に自分たちの未来を決める政治に参加してもらいたいからです。

しかし、外国籍の人は満18歳になっても選挙権がありません。日本では、両親が外国籍の場合、日本で生まれ育った子であっても日本国籍にはなりません。わかば高校には、今年から外国籍の仲間がたくさん入ってきました。わかば高校の生徒会選挙には参加できますが、日本ではオトナになって税金を払っても、国や地方の選挙には参加できません。世界では、外国籍の人でも、地方の住民として選挙に参加できる国もあります。すべての人にとって、より住みやすい地域や社会をつくるために、同じ地域に暮らしている選挙権をもたない人がいることも考えて、選挙に参加して欲しいと思います。



選挙とは、自分たちの現在と未来を決める大切な権利です。候補者の話をよく聞いて、信頼できる人に投票しましょう。

全校生徒数と多文化背景を持つ生徒数 ※2022/10/1現在

	2020年度入学	2021年度入学	2022年度入学	計
中国(香港含む)	0	3	16	19
ネパール	0	1	11	12
フィリピン	1	0	6	7
ベトナム	0	1	3	4
ペルー	0	0	2	2
ウクライナ	0	0	2	2
インド	0	1	0	1
タイ	0	0	1	1
スリランカ	0	0	1	1
ブラジル	0	0	1	1
韓国・朝鮮	2	2	2	6
合計	3/89	8/89	45/122	56/300

日本語指導が必要な生徒数

※+数は秋入学生数

	2020年度入学	2021年度入学	2022年度入学	計
中国(香港含む)	0	2+1	9+5	17
ネパール	0	0+1	4+7	12
フィリピン	1	0	2+2	5
ベトナム	0	1	1+1	3
日本/インド	0	0+1	0	1
日本/ウクライナ	0	0	1+1	2
日本/ペルー	0	0	1	1
日本/タイ	0	0	1	1
合計	1/89	6/89	35/122	42/300

なぜ急増したか。どんな生徒が入ってきたか。

セーフティーネットとしての役割

- ・ 二次募集、転入学（他の枠校からの転入含む）
- ・ 編入学（海外からダイレクト生徒含む）
- ・ 秋入学（コロナで待機、海外で6月に中学を卒業して入国等）
- ・ 枠には、あてはまらないが、日本語支援、学習支援が必要な生徒
- ・ 保護者への通訳派遣や在留資格の問題等支援の必要な生徒

日本に来たばかりの生徒

- ・ 日本の義務教育学校の経験なし（25名※渡日半年以内での入学20名）
 - ・ 不安定な滞在資格（家族滞在：23名）←日本語指導が必要な生徒の55%
- 日本語の学習経験がない生徒が急増

(2) 多文化多言語環境で育つ生徒の
サポート体制について

わかば高校のサポートについて

- 校内体制

進路部：「多文化担当」を中心に
教科「自己実現のための日本語」

構成： 多文化主担
日本語主担（週3）
ネイティブ中国語教員
1年担任教員
日本語担当常勤講師

- 外部専門家

多言語多文化アドバイザー：2名

校内サポート その0

合格者説明会でのヒアリング

わかば対象生ヒアリングシート 記入者 () 年 月 日 記入

受験番号

国籍	外国籍 () 籍 / 日本国籍	帰国渡日年月日	平成 年 月 日	緊急連絡先		保護者等	-	-	<	>		
名前	本名 (フルネーム『住民票』と同じ)		学校で使用する名前			保護者等	家族	-	-	<	>	
	フリガナ		フリガナ				支援者	-	-	<	>	
住所	〒 -		家TEL	-	-	<	>	本人	-	-	<	>
	生年月日 年 月 日 () 歳											
家族構成 (生徒本人を除く)	続柄	名前	国籍	生年月日	職業	日本語能力	同居等	日本語の習得状況について				
	フリガナ						同 別	日本語の習得状況について	メールアドレス < >		<input type="radio"/> ほとんど理解できない <input type="radio"/> 日常会話が理解できる <input type="radio"/> 授業で先生が話す日本語がわかる <input type="radio"/> 問題ない その他 日本語能力に関して	
	フリガナ						同 別		読書	<input type="checkbox"/> ひらがな・カタカナの読み書きができる <input type="checkbox"/> 簡単な漢字の読み書きができる <input type="checkbox"/> 漢字も使った短文を書くことができる <input type="checkbox"/> 教科書を読むことができ、長文を書ける		
	フリガナ						同 別		<「いつ・どこ」で、「週何時間」「何年間」勉強したのか> 大阪市立センター校に通っていた場合 → 大阪市立 中学校			
	フリガナ						同 別		<小・中学校で受けていた各教科の配慮事項> <どのくらいできるか> 国語 抽出口 理解 () 好・嫌 家庭 抽出口 理解 () 好・嫌 数学 抽出口 理解 () 好・嫌 体育 抽出口 理解 () 好・嫌 英語 抽出口 理解 () 好・嫌 水泳 授業の経験 (あり・なし) 理科 抽出口 理解 () 好・嫌 芸術 抽出口 理解 () 好・嫌 社会 抽出口 理解 () 好・嫌 部活動 抽出口 理解 () 好・嫌			
フリガナ						同 別	日本語クラス希望の有無		希望卒業時期	年		月
渡日・帰国に関する状況・理由	出身地 (故郷)	国	地域 (都、県、市、町)	※日本生まれ→ () 都/道/府/県		日本語・兼承諾						
通学履歴	在留資格 (MSA)	永住	定住 (年)	家族滞在 (年)	その他 ()	使用しやすい言語						
	渡日・帰国理由	保護者就労・保護者国際結婚・保護者就労等による呼び寄せ・日本での進学・その他 ()				① 語 ② 語 ③ 語						
	<日本にきた経緯、日本と母国との往来など現在までの詳細を記入>						家庭での使用言語 語					
通学履歴	前籍校	立	学校	中学校で入っていたクラブ		○卒業後の進路						
	母国/日本	年 月	入学・編入	○同じ中学からの進学者または本校にいる友人・知人		本人 保護者						
	年 月	入学・編入			○奨学金などの状況							
年 月	入学・編入			○宗教・健康・安全・精神面での要望等 ○中学校時代悩み、困っていたこと等								
年 月	入学・編入			健康保険証の有無								

校内サポート その1

- ・ **教務担当との連携：**

カリキュラム編成、シラバス作成、時間割・教員配置作成
授業サポートの提案・検討、各生徒の時間割作成
Nやさしい日本語担当者会議の開催 など

- ・ **広報担当との連携：**

パンフレット作成、中学校訪問、学校説明会
各地域への進路ガイダンス等への参加 など

- ・ **生徒指導担当との連携：**

生徒指導、懲戒等申し渡しへの通訳派遣
停学期間中の指導、保護者連絡等担任サポート など

校内サポート その2

- ・ **保健担当・就学支援担当との連携：**

健康診断、病気けが等家庭連絡支援
要保護要支援生徒・保護者への支援
ケース会議への出席、保護者懇談への通訳派遣、
長期欠席生徒への家庭訪問など

- ・ **進路担当との連携：**

奨学金申請サポート、進路懇談の通訳派遣、進路開拓、
オープンキャンパス等への引率
SST、総合的な探究の時間を母語の時間に先行学習 など

校内サポート その3

- ・ **事務との連携：**

就学支援金申請、諸費納入サポート
奨学のための給付金の申請サポートなど

※多文化担当で


毎朝 8時50分～8時55分 SHRの実施

母語母文化の育成

- **週2時間の授業**（学校設定科目：特別非常勤ネイティブ講師担当）
（中国語・ネパール語・フィリピン語・ベトナム語・
タイ語・スペイン語・ロシア語）
- **WING（部活動）の活動**
（母語でのスピーチ大会等への参加）
- **地域との連携による母語を活用したボランティア活動**
（多言語での絵本読み聞かせ等）

学校設定科目 **「母語継承語」**

➡ **校内 Waiwai トーク**



写真

Wakaba Intercultural & Global Club

WING

- 週2回の日本語勉強会
- 文化祭での企画
- 高校生交流会
- 中学校でのゲストティーチャー
- 母語スピーチ大会
- 外部行事への（初）参加（10月8日：難波宮跡

多言語絵本読み聞かせ

入場無料

多言語「えほん」のよみきかせと子育て広場

いろんなことば & いろんなえほん

de いくのっこパーク

Xin chào こんにちは。
안녕하세요.
Magandang araw
नमस्कार
Здравствуйते
Hello.
你好。
Hola.
नमस्कार

「いくの」ってすごいです！楽しいです！
いざ！いくのコーライズパークへ。
違いに橋を架けてチカラにする新しい「いくの(生野)」へ
みんなで創りませんか



2022年 11月 3日 (木・祝) 10:00~14:30
いくのコーライズパーク (もと御幸森小学校)

内容

- 外国にルーツのある生徒による多言語「えほん」の読み聞かせ (10か国語) (大阪わかば高校)
- 子育て広場 (子育て支援センター・つどいの広場・子ども子育てプラザ)
- Grand Harp 平見理津子と Accordion 佐藤心によるデュオ
- やさしいにほんごとイラストで学ぶ親子防災ワークショップ (防災士)

対象 未就学児とその保護者など



ホームページ

主催：NPO法人 IKUNO・多文化ふらっと/大阪わかば高校/生野区役所
協賛：荒木産業 (株) / 生野浴場商業協同組合 / 大阪生野ライオンズクラブ / (株) 東邦 / ロート製薬 (株) (五十首順)
協力：「いくのっこ」応援事業実行委員会 / 大阪市私立保育連盟 生野ブロック協議会 / 生野区子育て支援情報提供会議

部活動等への参加

◆WING (Wakaba Intercultural & Global Club) 約40名

- ・月、金放課後の日本語学習
- ・文化祭(パフォーマンス、展示部門)への参加

◆その他の部活動参加

◆外部との連携

- ・生野区、NPO法人「多文化ふらっと」
- ・いくのパーク

「いくの多文化クロッシングフェス」

「いろんなことば&いろんなえほんdeいくのっこパーク」

子どもの可能性を奪わない教育をめざして

⇒ 「目の前にいる子どもを、
ただ、日本語ができない子どもと見なしますか？」

それとも

二つ（以上）のことばと文化をもつ可能性のある子ども
とみなしますか？」

（大阪大学：櫻井千穂先生）

(3) わかば日本語モデル

日本語カリキュラム編成の基本方針

- 高校卒業にふさわしい学力をつけ、卒業後日本で就職または進学し自立するための基礎となる日本語力、つまり「**自己実現のための日本語**」を養うことを、本校における日本語指導の目的とした。本校独自のシステム（多部制単位制、前期後期制、秋季入試等）を活用し、生徒の多様性を尊重し活かし伸ばすことのできるカリキュラムをめざした。そのための日本語力を養うには、第二言語である日本語の学習だけでなく、第一言語による理解力、思考力の深化が不可欠である。母語力の伸長が教科学習言語能力の伸長のみならず、アイデンティティ形成、バイリンガルの育成にもつながると考え母語・継承語の授業を開講した。

→日本社会での経済的自立ができるように

→セーフティーネットとしての役割

学校設定教科 「自己実現のための日本語」

母語継承語

聞く・話す

- ・日本語コミュニケーション
- ・日本文化事情
- ・日本語コミュニケーション演習

読む・書く

- ・日本語リテラシー
- ・日本語実践
- ・時事日本語
- ・日本語キャリア演習

地域連携

インターンシップ

生徒の強み + a



自己実現

大阪わかば高校の授業の特徴

- 前期後期制
- 月木・火金が同じ授業
- 50分×2時間 = 100分授業

→きめ細かな指導が可能

わかば日本語モデル

=多文化アイデンティティ・カリキュラム (櫻井2022)

目的	日本の学校教育現場でマイノリティの立場におかれる文化的言語的に多様な子どもが、自身のアイデンティティを肯定的に捉えながら、リテラシー（読み書き）まで伸ばしていくことを目指す。
方向性	対象の子どもに（学校に合わせた）変容を求めるのではなく、学校環境・授業を、子どもに合わせて変えていく。
理論基盤	トランスランゲージング・クラスルーム (ガルシアほか, 2017) バイリンガルZPD活動 (モル, 2014) 変革的マルチリテラシーズ教育学 (カミンズ, 2011) マルチリンガル環境におけるリテラシー獲得の教育的枠組み (カミンズ, 2009)
取り組みの柱	1. 子どもの持っている力を複数言語「で」、多角的・包括的に捉える 2. 子どもが参加できる在籍学級（教科指導）の授業づくり 3. 取り出しでの内容・プロジェクト・タスク重視の日本語（母語）授業 4. 複数言語での段階的読書プログラム

わかば日本語モデル =多文化アイデンティティ・カリキュラム (櫻井2022)

複数言語「で」多角的・包括的に評価
→トランスランゲージング・レンズで
子どもの力を捉える

「日本語ができない」子どもで
はなく、「複数のことばと文化
を持つ可能性のある子ども」

リテラシーを伸ばす

体育・芸術以外の必
履修科目でやさしい
日本語のクラス開講

教科
指導

バイ/マルチ
リンガル
教育理論

段階的読書
プログラム

内容中心型の
言語（日本
語）教育

生徒自ら「多文
化背景を持つ」
高校生に必要な
授業内容を考え
る、市民性教育
をふまえた
プロジェクト型
授業

日本語関係科目

教科	文科省設定科目	(学) 自己実現のための日本語				(学) 地域連携
1年次	日本の学校・授業に慣れる					
科目名	現代の国語、 言語文化		日本語リテラシー	日本語 コミュニケーション	母語継承語	
単位数	4		2	2	2	
内容	市民性教育をふまえたプロジェクト型授業		段階的読書プログラム	スピーチ、多言語絵本の読み聞かせ		
2,3年次	学校生活の主人公になる					
科目名	論理国語	時事日本語	日本語実践	日本文化事情	母語継承語	インターンシップ
単位数	4	2	2	2	2	2
内容	市民性教育をふまえたプロジェクト型授業	ニュースや時事問題を考える	様々な分野のレアリアに触れ、考える	文化に関すること、アニメ・映画・ドラマ等含む		(言語資源等) 強みを生かした職業体験
最終年次	進路を実現する					
科目名			日本語キャリア演習	日本語コミュニケーション演習	母語継承語	
単位数			2	2	2	
内容			進路指導	進路指導		

「時間割」(2022年度前期)

N・・・やさしい日本語で授業
 黄色・・・日本語関係科目

	月	火	水	木	金
9:00 ~10:45 (1・2時間目)	N数学 I a Mathematics	N情報 I Information	日本語コミュニケーションa Japanese	N数学 I a Mathematics	N情報 I Information
10:55 ~12:40 (3・4時間目)	美術 I / N物理基礎 Physics	日本語リテラシー Japanese	HR/総合的な探究	美術 I / N物理基礎 Physics	日本語リテラシー Japanese
ラ ン チ タ イ ム					
13:25 ~15:10 (5・6時間目)	N現代の国語 Japanese	母語・継承語A Mother language	N保健① Health	N現代の国語 Japanese	N英語コミュニケーションI b English

「時間割」(2022年度後期)

N・・・やさしい日本語で授業

黄色・・・日本語関係科目

	月	火	水	木	金
9:00 ~10:45 (1・2時間目)	N言語文化 Japanese	N英語コミュニケーションI a English	日本語コミュニケーションa Japanese	N言語文化 Japanese	N英語コミュニケーションI a English
10:55 ~12:40 (3・4時間目)	体育b P.E.	N科学と 人間生活 Science	HR/総合的な探究	体育b P.E.	N科学と 人間生活 Science
ランチタイム					
13:25 ~15:10 (5・6時間目)	N家庭基礎 Home economics	母語・継承語B Mother language	English Theater	N家庭基礎 Home economics	N数学 I b Mathematics

プレースメントのアセスメント

- 日本語能力診断テスト
- 2言語作文
- 一対一の対話による言語能力・特性把握

→複数言語「で」、多角的・包括的に、生徒の力を把握し、
クラス分けにつなげる

(家庭状況等についてのヒアリングは合格者説明会で実施)

春に実施した二言語作文アセスメントの結果

母語 日本語	1	2	3	4	5	6
6						
5						
4	日本生まれ～滞日5年程度					
3						
2		○				
1	○			滞日2～3年未満		

直接編入
滞日2年未満

(4) 実際の授業について

- 日本語コミュニケーション
- 日本語リテラシー
- 現代の国語

学校設定科目 「日本語コミュニケーション」

▶スピーチ発表

習熟度別に2クラスに分ける

基礎クラス

テーマ「わたしの町」「わたしのスペシャルメニュー」

標準クラス

テーマ「日本のイメージ」「習慣の違い」

学校設定科目 **「日本語コミュニケーション」**

■ **トランスランゲージングを戦略的に導入**

テーマ「これまでの人生で自分を変えたできごと」

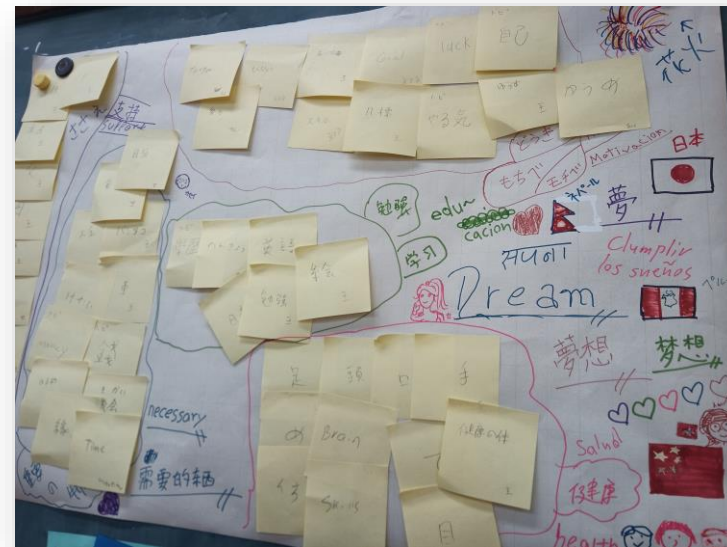
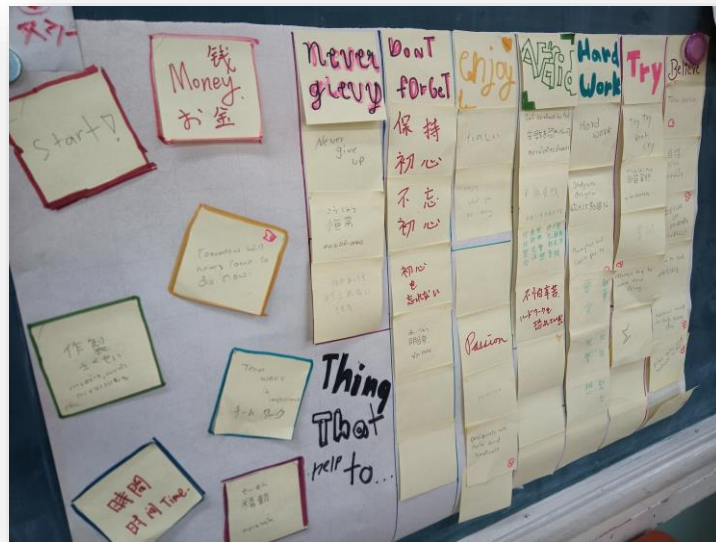
学校設定科目 「日本語リテラシー」

➡ 読み書きの世界への誘い、動機づけ

「何のために本を読むの？」

「10年後、90日後の自分はどうなっていたい？」

「夢や目標を叶えるためには何が必要？」

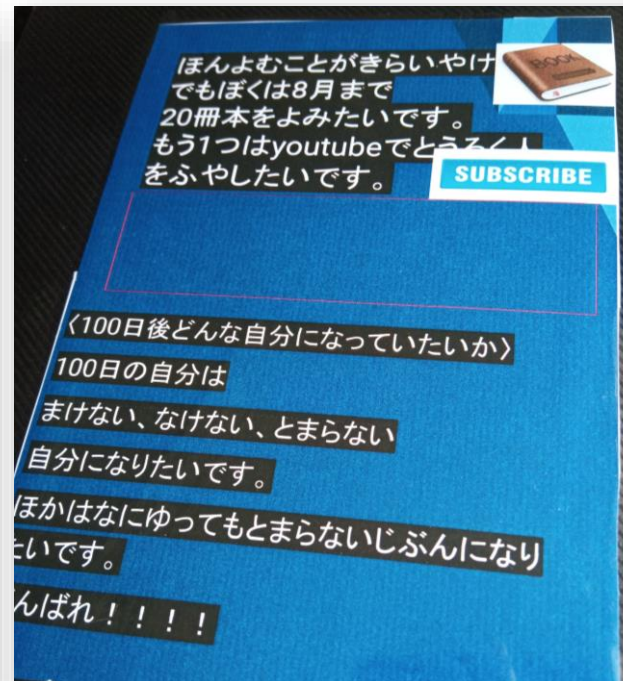
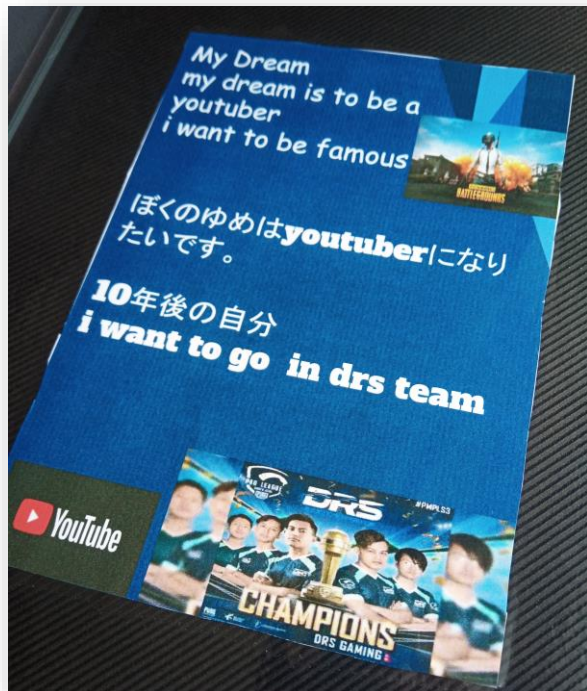


学校設定科目 「日本語リテラシー」

➡ アルバムの作成

自分の夢や目標を1ページ目に。

自分だけの作品として、大切に育てていく。



学校設定科目 「日本語リテラシー」

▶ あらすじ書き

読んだ本のあらすじを書いて、
Google ドキュメントで提出。

推敲した上で、アルバムに貼っていく。

必履修科目 「N現代の国語」 「N言語文化」

▶ 市民性教育をふまえたプロジェクト型授業

- 生徒自ら単元カリキュラムを考える

「高校生で勉強しておくべき内容は？」

→高校生として、実際にどのような単元が必要か教科書分析を行い自ら選択

→自分達のためだけでなく、将来の多文化多言語環境で育つ高校生たちのために作る、という使命

生徒から
「なぜ、これを学ぶべきか
プレゼンテーションがしたい！」
という声が出たため、急遽スライドを使って
プレゼンテーションすることに...

必履修科目 「N現代の国語」

➡ 市民性教育をふまえたプロジェクト型授業

- 環境問題（SDGsポスター作成、1分間プレゼン）
- 情報リテラシー（全校生徒アンケート、ポスター発表）
- 生きやすい日本をめざそう（生野区長への嘆願書）

生徒の変容①

- 入学当初の作文では1日本語でも母語でも一文字も書けなかった生徒

→情動体験

=生徒の書きたいことをとことん掘り下げた

→書くストラテジー

=生徒の頭の中に浮かんだイメージや言葉を

文字、文章にして表現していくというプロセスのサポート

→教員の見守り

=褒め続ける

生徒の変容②

- 半期が終わって、後期のはじめに。
「もっと自分たちの日本語を伸ばしてほしい」
→提言書を書いて持ってきた
→勉強に対する意欲が上昇

- 市民性教育をふまえたプロジェクト型授業で自分達に必要な力は何か、実際に考えていく予定

生徒の学びたい気持ち、伝えたい気持ちをくみとり、
新たな学び・成長につなげていく